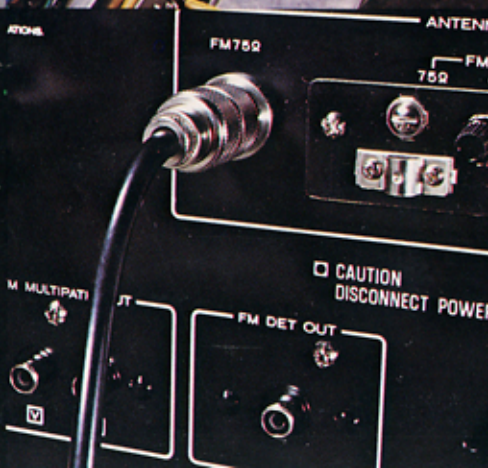
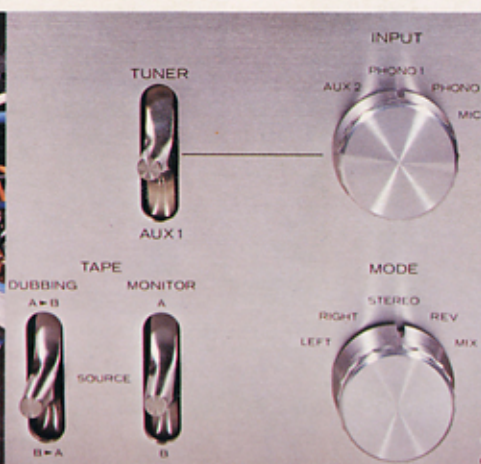
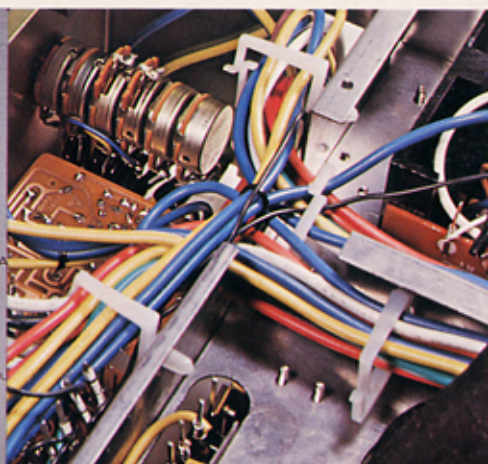


TRIO

AUDIO TECHNICAL COMPONENTS



ATC
audio technical component

TRIO
KT-9007

SOLID STATE STEREO TUNER



AUTO STEREO ONLY MONO

TRIO
KA-9006

POWER ON/OFF

PHONES

LEVEL

FILTER

LOW 40Hz
HIGH 10kHz

TURNOVER

LOW 20Hz
HIGH 20kHz

LOUDNESS

LOW 20dB
HIGH 0dB

MUTING

ON
OFF

TUNER

AUX 1

INPUT

PHONO 1

PHONO 2

MIC

MODE

STEREO

REV

MIX

VOLUME
BALANCE

SPEAKERS

A+B

BASS

dB

TREBLE

dB

DUBBING

A+B

MONITOR

A B

POWER ON/OFF

PHONES

SOLID STATE STEREO INTEGRATED AMPLIFIER

LEFT

MIC

RIGHT

現在と未来をとらえた 確かなオーディオ技術

ATC
audio technical components

我国のオーディオ史とともに歩み
続けてきた(FMのトリオ)。その専
門技術の粋がATC(Audio Technical
Components)の3文字に刻み込まれ
ています。FMエアチェックに本格的

に取り組んだチューナー。裸特性
というシビアな特性追求を通じて
本質的に究明したアンプの“音質”
音のよさをベースに、つねにオー
ディオ史を書きかえてきた“新技術

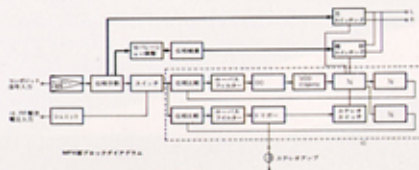
集団”ATCシリーズが発表する、オー
ディオのあり方です。オーディオの
現在と未来を的確にとらえたATC
シリーズ。コンポ時代のシステムの
信頼できる核としてご愛用ください。

〈FMのトリオ〉から新しい問題提起・エアチェックチューナー

これからのオーディオの楽しさ——FMエアチェック。デッキ側の問題もありますが、チューナーの良し悪しも、さまざまな点からシビアに追求されてきます。まず高周波特性IF特性の受信特性、さらに広帯域セパレーション・SN比・ヒズミなど音質にかかわるマルチ特性。これらは、どれをとっても〈FMのトリオ〉が信頼をいただいているチューナーの基本特性です。その特性をさらに向上させることはもちろん、諸特性を最大限に引き出すために、マルチパス検出機能(KT-9007、KT-7007ではメーターで検出)を附属。さらにFMエアチェックをしやすくするために、デビエーションメーターをつけました。(KT-3007を除く)FMエアチェックという目標を設定してさらに性能アップしたチューナーです。

トリオ独自のFM技術：D.S.D.C.方式

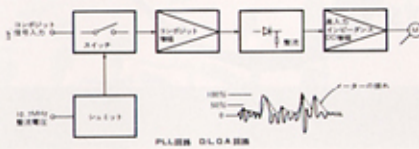
主スイッチング回路と補助スイッチング回路の出力を左右対称にし、また逆位相にとり、両スイッチング回路の出力を加えることによって、漏れ信号を打ち消すのがトリオ独自のFM技術D.S.D.C.方式です。また位相補正回路を設置して、主信号と漏れ信号の位相を合わせるように



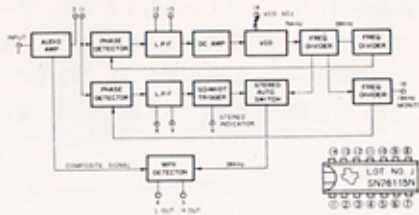
設計しています。超低域から高域まで、ピアノなど音域の広い楽器でもはっきりと定位します。

デビエーションメーター

ベストな状態でエアチェックをするためには、放送の変調状態を知り、ソースの送信レベルを知ることが、まず必要です。そこで、放送局で送信状態をチェックするのに使用されているデビエーションメーターを搭載しました。100%変調でデッキのVU計を0VUにセッティングすれば、ヒズミの感じられない、SN比にすぐれた録音ができます。



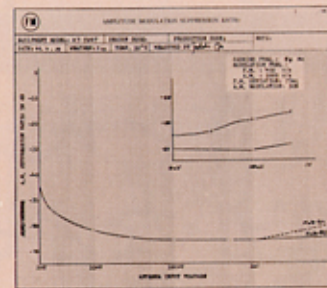
PLL回路



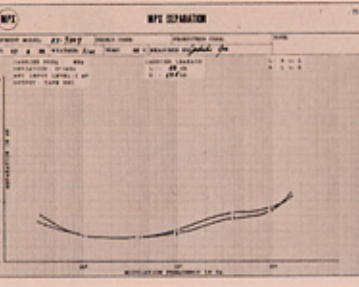
PLL回路

PLL回路(フェーズロックループ)で構成されるFMマルチプレックス部は、コイル類を使わずに

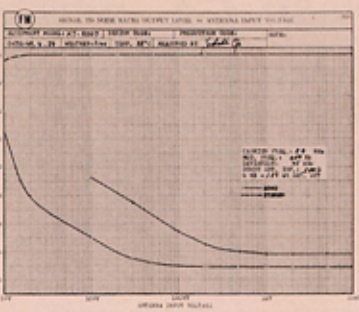
すみますので、温度変化や湿度変化によろく、経年変化にも抜群の特性をもっています。可聴周波数帯域内でのヒズミはもちろん、とくに



AM抑圧度特性

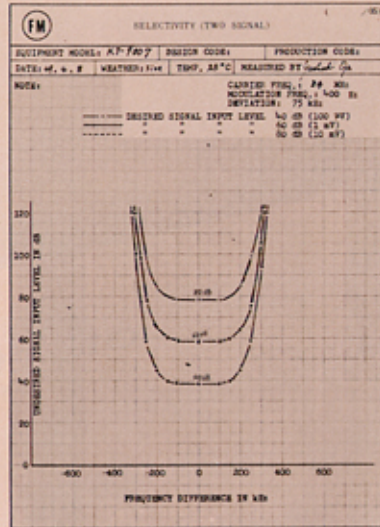


MPXセパレーション特性

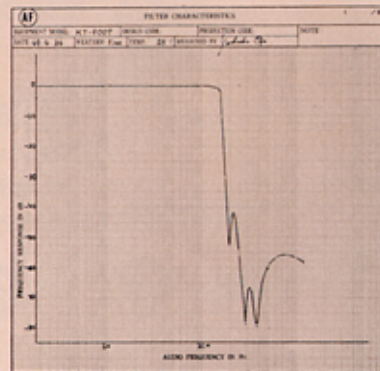


アンテナ入力電圧対出力電圧/残留雑音

耳ざわりな高域でのヒズミをシャットアウト。また高音域でのステレオ・セパレーション特性を大幅に改善しました。



2信号選択度特性



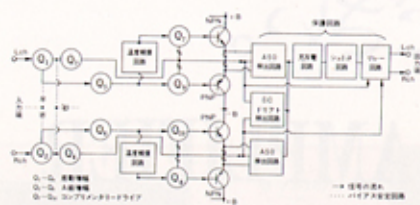
キャリアークフィルター特性

《音質重視》に関するひとつの信念・裸特性を重視したハイパワーアンプ

たしかに、特性だけをいくら良くしても、音質的によくなるとは言えません。しかし、特性をおろそかにしたアンプからは決して満足できる音はでない。これだけは言い切れます。とくに深いNFBをかけることが常識的になっている最近のアンプを、NFBをかけたまま測定すれば、見かけ上の特性はほとんど変わらない数値となってあらわれてきます。そこでトリオでは、NFBをはずして補正をしていない特性＝裸特性における、あらゆるレスポンスを重視。その裸特性の充実をベースとして、オーディオの本質であるヒアリングを通しての音質を追求。同時にハイパワー化を狙い、高い音楽表現力を実現しました。音楽の感動・雰囲気…無限の音楽情報を包含した音。ATCシリーズのアンプの音です。

《全段直結+純コンプリメンタリー》回路

初段から終段まで、段間結合コンデンサーを取り除いた《全段直結回路》と、出力段にPNP-NPNのダーリントン方式を使った《純コンプリメンタリー回路》をドッキングしました。さらに初段差動方式を使った±2電源方式です。低音域における諸特性を徹底的に改善して、可聴周波

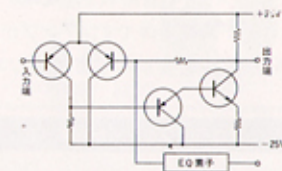
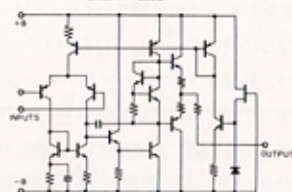


数帯域の全域で、ヒズミの感じられない、安定した出力を得ています。

DLOA

プリアンプに、初段に差動増幅、バッファ、3段A級ドライブ、それに純コンプリメンタリーで構成されるDLOA(デュアル・ローノイズ・オペレーショナルアンプ)を採用しました。このため、高ダイナミックレンジ、高入力インピーダンス、電源利用率がよく、かつ低インピーダンス、低歪率を実現しました。また出力端の直流電位がOVのためショックノイズも防止。

DLOA回路

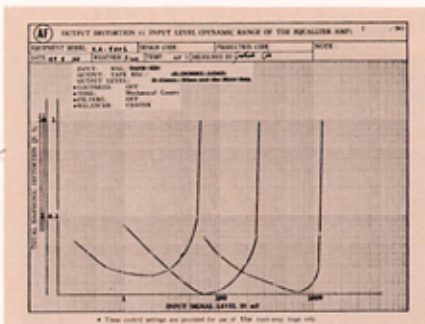


トリオ独自のプロテクション

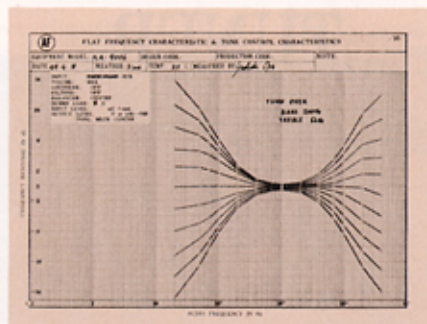
トランジスタの保護にはリミッター方式のプロテクション回路を使用。スピーカーの保護

と、電源ON-OFF時のショックノイズを防止するためにはリレーを採用しました。出力端がショートされたときに100m・sec以内にリミッ

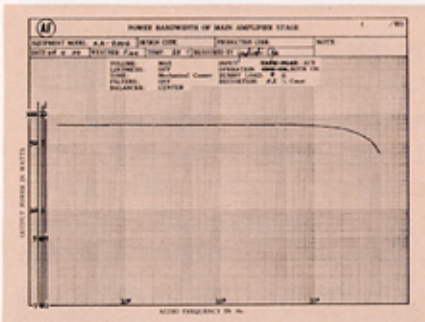
ターレベルが下がり、トランジスタを保護します。低インピーダンスのスピーカーでも、余裕をもって駆動できます。



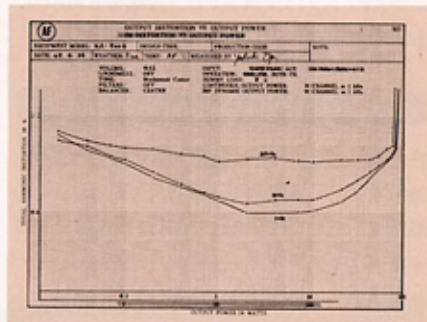
イコライザー入力電圧対ヒズミ特性



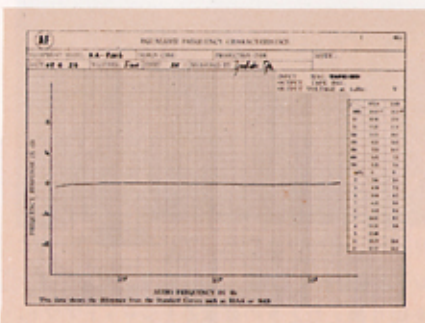
トーンコントロール特性



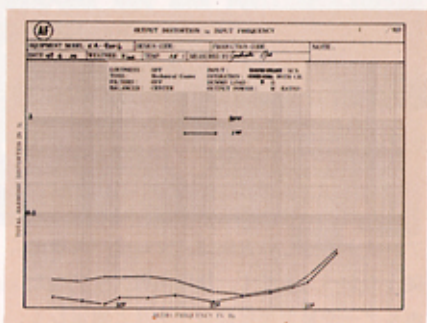
出力帯域特性



出力対ヒズミ特性



イコライザー出力特性



周波数対出力ヒズミ特性

● グレードアップ、新規購入、買い増し…………… 購買基準をまず明確にしてください。

TUNER

帯域セパレーション

チューナーの基礎受信特性が改善されてきた現在、もっとも大きなテーマとなっているのが“音質”です。FMステレオ放送の音質をそのまま再現するには、広帯域にわたってセパレーションを安定することが第一です。リスニングに、レコーディングに、FMステレオ放送を活用の方、まず帯域セパレーションにご注目ください。

クワイティンクスローブ

感度が、どれだけ微弱な電波を受信できるかを表示していた時代は終わりました。これからの感度は、どれだけすぐれたSN比で受信できるかを知るものです。クワイティンクスローブは、入力を細かく表示して、それぞれのSN比を表示した新しい感度表示です。これにより、チューナーの実力がひと目で読みとれます。

マルチパス検出

電界強度の強いところや、ビルに囲まれてマルチパス・ヒズミの多いところでは、とくに屋外アンテナを正しくセッティングしたいものです。アンテナの正しい方向は、マルチパス検出に従うのがベストです。75Ω同軸ケーブルを、ホルダーやM型接栓にガッチリと固定して、

アンテナをセッティングしてください。

SN比、歪率(ヒズミ)

チューナーは音楽を聴くためのコンポーネントです。レコードやテープと同様に、音楽ソースとして重視してください。基本受信性能がすぐれていることはもちろんですが、オーディオとしてSN比や歪率にすぐれていることが必要です。

2メーター方式

良質のFMを聴取するには、正確な同調が第一歩。チューニングメーターとシグナルメーターが同調の決め手です。シグナルメーターで最大の振れの点を見つけだし、その範囲内でチューニングメーターの振れが中央になるように、同調点を合わせてください。等間隔のログダイヤルスケールや、シャープなチューニングツマミで、正確な同調をとり、FMリスニングをお楽しみください。

出力レベル調整

アンプのセレクターをPHONO、TUNERと切り換えたときに音量の差がでるのは気分の悪いものです。また、そのたびにアンプのボリュームを動かすのは大変に面倒です。そこでチューナーの出力を十分に大きく設計し、さらにボリュームをつけました。プレーヤーやデッキとレベルを合わせておくことにより、セレクターを切り換えたときの音量差をシャットアウト。

AMPLIFIER

アンプとチューナーのセパレート

単体の内部スペースを十分にとることは、性能的にも、信頼性の面でも好ましいことです。パワーの余裕、操作機能の充実など、さまざまなソフトウェアへ対応することが可能です。またコンポーネントの特長である買い換えや買い増しなどのグレードアップ・プランがたてやすくなります。たとえばチューナーはそのままで、アンプをパワーアップすることも可能。

ハイパワー

大きな音を出すだけが目標ではなく、スピーカーの能力をフルに発揮させるためにも、パワーに余裕が必要。部屋の大きさや、スピーカーシステムの能率によっても左右されますが、バルブ系信号を忠実に再生するためにも、20W以上は欲しいものです。またハイパワーアンプで重要なのは安全設計。とくに、パワートランジスタの放熱板とか電源がしっかりしていることが前提条件です。アンプが大型化されてきたのは、必要からくる結論なのです。

プロテクション・サーキット

初段差動増幅による(全段直結+純コンプリメンタリー)回路です。可聴周波数帯域をとおり越した超低域でフルパワーをだせる能力をもっ

ています。しかしあまり超低域でフルパワーをだすと、さまざまな障害が生まれてきます。アンプの性能がよくなればなるほど、リミッターやリレーによって、スピーカーやトランジスタの保護に気を配らなければなりません。

帯域保証実効出力

アンプの実力は、どれだけ少ないヒズミで、全帯域にわたって安定した実力がだせるかということです。アンプの実力がひと目でわかるもっともシビアな出力表示です。

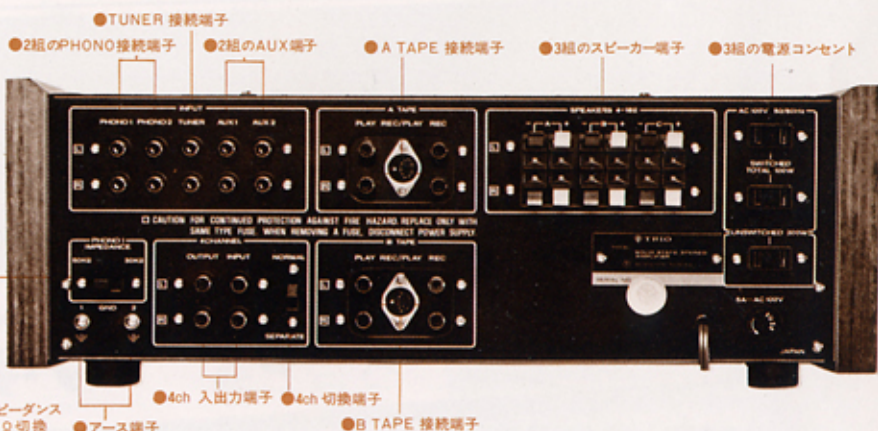
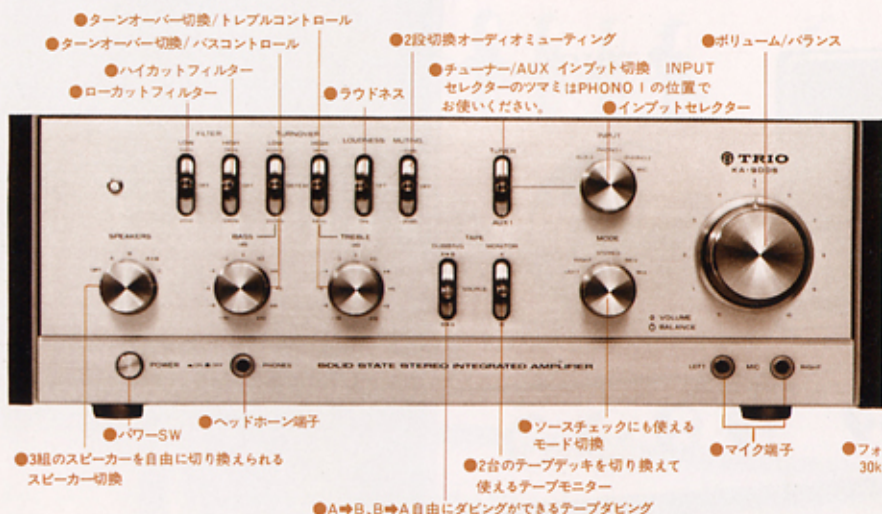
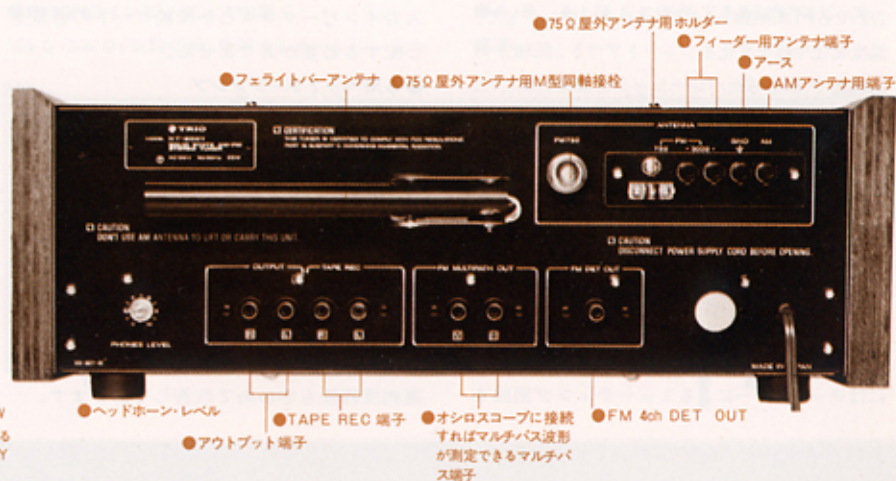
最大許容入力

アンプのPHONO端子にいれられる入力の最大値を表わしています。ダイレクトカッティングや、ノンディストーションなど、ダイナミックレンジの広いレコードが出現。一般に、レコードの録音ピークは30cm/secに達するといわれています。5mVのカートリッジで再生すると30mVですが、高級機としては100mV以上は必要です。

トーンディフィート

トーンコントロールは、音場を部屋の特性や耳の特性に合わせて調整するものです。しかしフラットポジションにトーンコントロールをセッティングしても、周波数特性に多少のうねりが生じるのを防ぐことはできません。このうねりをカットして、入力から出力まで、まったくフラットな特性で、音楽をお楽しみいただけるのがトーンディフィートです。

●オーディオ・テクニクが自由に発揮できるフルファンクション搭載



●D.S.D.C.方式+PLL回路

IF段で生じた、メイン信号とサブ信号の位相ズレを補正するトリオ独自のFM技術:D.S.D.C.方式。パイロット信号とスイッチング回路の位相を合わせるPLL回路。この2方式をドッキングして、温度変化や経年変化をシャットアウト、低域から高域まで、広帯域セパレーションを実現しました。

●多用途2メーター

チューニングメーターとシグナルメーターの2メーター。シグナルメーターはデビエーションメーター、マルチバス歪検出メーターとして使用できます。またシグナルメーターは電界強度比例型/リニアメーターです。

●リアンプ

±2電源方式を採用。さらにオーディオ出力回路にはリードリレーによるミュート回路を

内蔵、パワーON-OFF時のポップノイズを除去しました。またREC OUTとOUT PUTに独立したバッファーステージを設置して、低出力インピーダンス設計を実現、接続するアンプの入力インピーダンスとか接続コードの容量を心配する必要がありません。

●専用ヘッドホンアンプ

リヤパネルにホーンズレベルを設置して、ヘッドホンリスニングを充実させました。

●IF段

IC2段、トランジスター2石、8素子のセラミックフィルターを使用。IHF規格で決められている局間±400Hzの2信号選択度を満足させました。さらに、これからのFM多局化時代に正確な受信ができるように、局間±300Hzの選択度特性もきわめて改善してあります。

●フロントエンド

RF増幅段、ミキサー回路にデュアルゲートMOS型FETを使用。局部発振回路のバッファにFETを使用。大入力時のAM抑圧比、混変調特性、ヒズミ、また相互変調特性を改善し、安定したフロントエンドの諸特性を得ています。

●キャリアリークフィルター

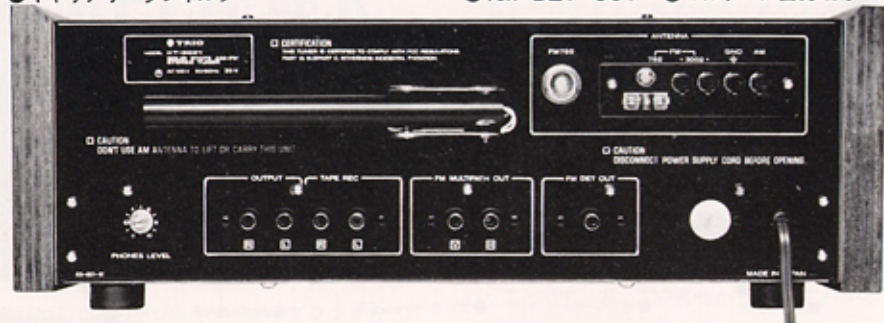
有極型の減衰量のすぐれた3段フィルターを採用。通過帯域内でのリップルが少ないフィルターですので使用帯域内での補償は万全です。

●M型同軸コネクタ

●2段切換FMミュートイング

●ファンクション・インジケータ

●4ch DET OUT ●マルチバス出力端子



KT-9007

ソリッドステートAM/FMステレオ・チューナー
価格¥90,000

●20Hz~20kHz帯域実効出力：70W+70W
73W+73W(1kHz両ch動作8Ω)のハイパワー

●初段差動増幅による〈全段直結+純コンプリメンタリー〉回路のメインアンプ部
温度補償・電源の安定化・万全の保護回路のメインアンプ部の基本性能を徹底的に追求。充実した基礎特性にのって音質を向上させました。

●トリオ独自の2重プロテクション
トランジスタの保護はリミッターでおこない、SP保護と電源ON-OFF時のクリックの防止にはリレーを採用。低インピーダンスのスピーカーでも、安心して大出力駆動ができます。

●イコライザー
初段差動回路の3段直結2電源方式のイコライザー一段で広いダイナミックレンジを実現。裸特性を充実した、高利得の基本回路です。

●トーンコントロール
BASSは200Hz・400Hz・TREBLEは3kHz・6kHzで2dBステップの正確なトーンコントロールが可能。微妙な聴感補正を正確にとれます。

●フィルター
20Hzのサブソニックフィルターと40Hzのランブルフィルターを採用したローフィルター。7kHz・12kHzのハイフィルター。このフィルターを自由に駆使して、正確な聴覚補正をください。

●2段切換のオーディオ・ミュート機構
-10dB・-20dBと2段切換のミュート機構。プリセットとしても利用でき、ラウドネスコントロールと組み合わせると、2段切換のラウドネスコントロールとしても使用できます。

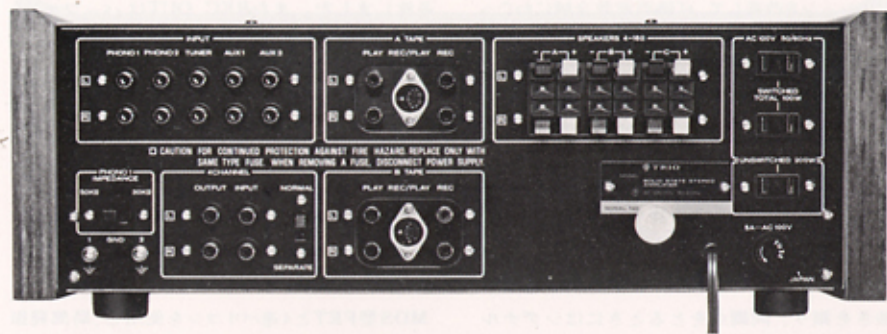
●インプットセレクター
ロータリースイッチとレバースイッチを併用。

3ソースの入力切換がワンタッチで可能なトリオ独自のセレクターです。ロータリーSWをPHONO1ポジションにしておけば、TUNER・PHONO・AUX1の切換はレバー操作のみで切換可能です。

●PHONOインピーダンス切換
30kΩ・50kΩの2段切換。使用するカートリッジの

最適負荷インピーダンスに合わせて、カートリッジの性能をフルに引きだせます。

●テープモニター/テープダビング
●モードセレクター
●A、B、A+B、Cと使用できる3組のスピーカー端子



KA-9006

ソリッドステート・ステレオ・プリメインアンプ
価格 ¥120,000

●D.S.D.C.方式+PLL回路

セパレーション特性が抜群のD.S.D.C.方式。周囲の温度変化や経時変化に対してもセパレーションの劣化を許さないPLL回路。このすぐれた2つの回路方式をドッキングしてMPX部を構成しました。とくに高域でのヒズミやセパレーションを改善して、可聴周波数全域にわたって、クオリティーの高いFMを再現します。

●多用途2メーター

チューニングメーターのほかに、デビエーションメーター、マルチバスマーターとしても使えるシグナルメーターをつけました。エアチェックや録音時のオーバー入力歪を防ぐときにはデビエーションメーターで…アンテナを正しく設置するためにはマルチバス歪検出メーターで…電波の強さを測り、同調点をとるときにはシグナル

メーターとチューニングメーターで…とソースとしてのFMを十分に使いこなしていただけます。

●プリアンプ部

±2電源方式を採用。さらにオーディオ出力回路にはFETスイッチによるミュートイングを採用して、電源ON-OFFするときのポップノイズを追放しました。またREC OUTはバッファーステージによる低出力インピーダンス設計。接続するアンプの入力インピーダンスや、接続コードの容量を気にする心配はありません。

●IF段

IC、5石のトランジスター、3素子のセラミックフィルターを使用。2信号選択度80dB(IHF)と多局化時代にも抜群の性能を示しています。

●フロントエンド

MOS型FETと4連バリコンを使用し、局部発振

回路にはトランジスターによるバッファーステージを採用。混変調特性・AM抑圧比・歪など、大入力時での特性を大幅に改善しています。

●キャリアリークフィルター

通過帯域内でのリップルの少ない2段フィルターを採用。キャリアリークを追放したヒズミの少ない再生音がお楽しみいただけます。

●M型同軸コネクター

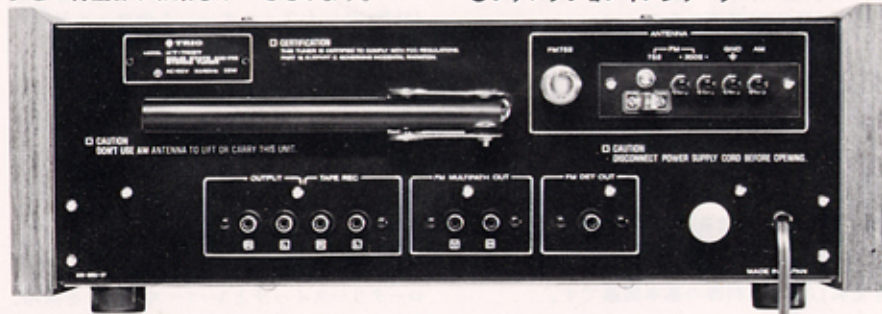
75Ω ケーブルを、簡単に、確実に結線するために、M型同軸コネクターを装着。

●4ch DET OUT

●マルチバス出力端子

●FMミュートング

●ファンクションインジケーター



KT-7007

ソリッドステートAM/FMステレオ・チューナー
価格¥65,000

●20Hz~20kHz帯域実効出力：50W+50W
55W+55W(1kHz両ch動作8Ω)。どんなスピー
カーシステムでも余裕をもって駆動できます。

●初段差動増幅による〈全段直結+純コンプリ
メンタリー〉回路採用のメインアンプ部
ショックノイズの防止/温度特性/低歪率/
高利得/位相特性/フラットな出力インピー
ダンス/広帯域周波数など、オーディオアンプ
に欠かせない回路の安定化をはかりました。
裸特性を重視して、基本特性を充実、音質的
にも十分、改善されています。

●トリオ独自のプロテクション
リミッター回路とリレーを使用して、トランジス
ターとスピーカーを保護します。低インピー
ダンスのスピーカーでも余裕をもって駆動可能。

●イコライザー
裸特性にすぐれた高利得回路。初段差動回路
の3段直結方式です。ダイナミックレンジの広い
レコードでも、余裕をもって再生できます。

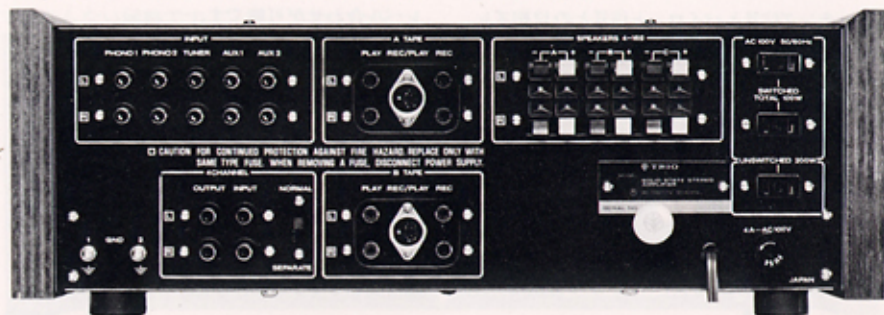
●トーンコントロール
ヒズミが少く、SN比にすぐれたDLOAを採用。
さらにトーンコントロール・ディフューズ・スイッ
チも備え、回路素子によるわずかな特性のうねり
もシャットアウトしています。

●フィルター
ローフィルターにはサブソニックフィルターと
ランブルフィルターを採用。20Hz~40Hzで12dB/oct
カット。ハイフィルターには7kHzで6dB/oct
カットするスクラッチフィルターを採用しました。
音質をそこなわずに、自然な聴覚補正ができます。

●インプットセレクター
ロータリースイッチをPHONO1にしておけば、
TUNER-PHONO-AUXの切り換えはワンタッチ。

●テープモニター/テープダビング
ダビングするときのダビングチェック、モニター
のさいのソースチェックにお使いください。

●-20dBのオーディオ・ミューティング
●モードセレクター
●3組のスピーカー端子
●PHONO 2 系統、AUX 2 系統の入力端子
●4chOUTPUT, 4chINPUT端子
●マイク端子



KA-7006

ソリッドステート・ステレオ・プリメインアンプ
価格 ¥75,000

●多用途2メーター

デビエーションメーターとして使用できるシグナルメーター、チューニングメーターの2メーター方式。最適受信ポジションをキャッチするだけでなくFMエアチェックにも実力を発揮します。

●MPX部にPLL回路採用

スイッチング信号とパイロット信号との位相ズレをシャットアウト。広帯域にわたって安定したセパレーション特性を実現しました。

●LC型キャリアリーク・フィルター

PLL回路と併用することにより、ビート障害やヒズミを追放して、50Hz～10kHzで35dBとすぐれたセパレーションを得ています。

●フロントエンド/IF段

フロントエンドにはFET、2トランジスターIF段には2素子のセラミック・フィルター、IC、

6石のトランジスターを採用。FM受信のための万全の回路構成です。

●出力レベル調整

アンプの入力セレクターを切り換えるとき、各ソースのレベルが違っては、レベル合わせが面倒。前面のボリュームで簡単に他のソースとのレベル合わせが可能です。

●等間隔目盛のロングダイヤルスケール

周波数直線3連バリコンを使用して、精度の高い同調ができます。

●スムーズなダイヤル機構

大型フライホイールと精度の高いダイヤルシャフトの採用により、チューニングのときの不快なバックラッシュをシャットアウト。

●プッシュスイッチによるファンクション切換

AM・FM・AUTO・MONOのセレクター、ミュートイ

ング、MPXフィルターのセレクトには、ワンタッチ切換ができるプッシュスイッチを採用。

●同軸ケーブルホルダー

75Ωケーブルを簡単に確実にとりつけるためのホルダーです。屋外アンテナの取り付けに便利。

●ファンクション・インジケーター

AM・FM・STEREO・MUTINGと使用スイッチ類

を表示。ひと目でチューナーの動作状態が確認できます。

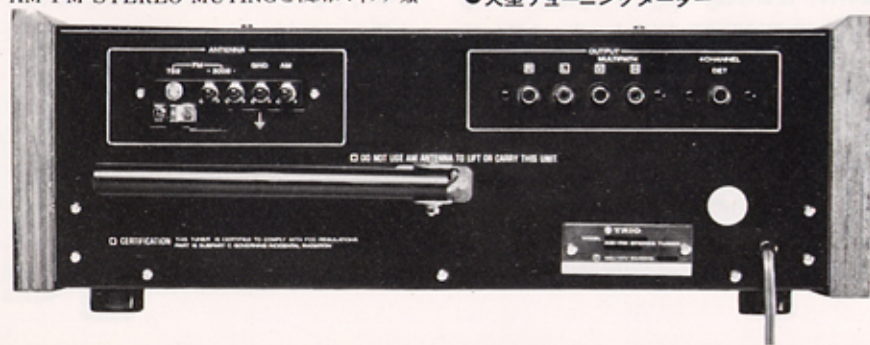
●将来のFM4ch放送に備えた4chDET OUT

●マルチバス波形観測用端子

●FMミュートイング

●MPXフィルター

●大型チューニングメーター



KT-5007

ソリッドステートAM/FMステレオチューナー
価格¥50,000

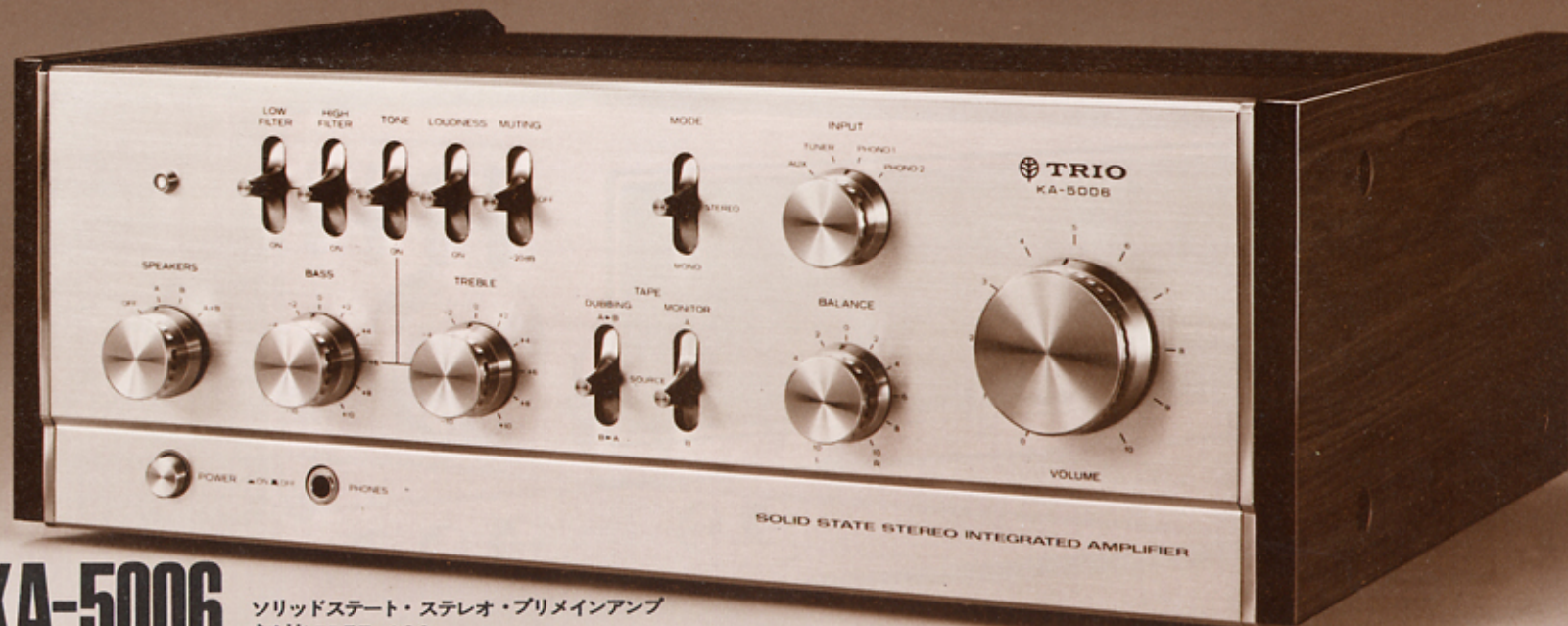
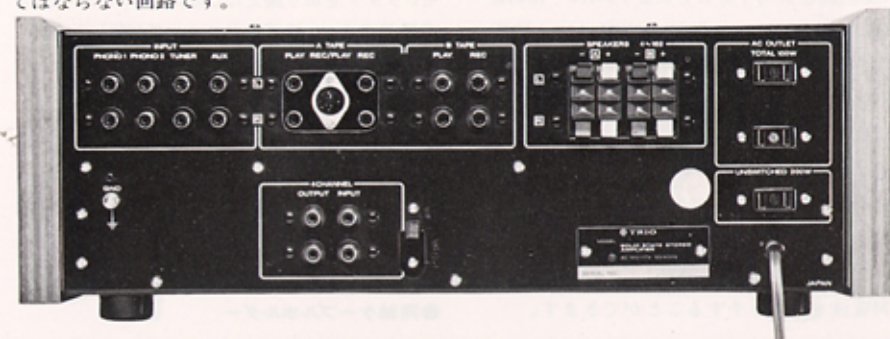
- 20Hz~20kHz帯域実効出力：34W+34W
35W+35W(1kHz両ch動作8Ω)のハイパワー
- メインアンプ部には、初段差動増幅による
(全段直結+純コンプリメンタリー)回路を採用
低音域の諸特性を大幅に改善して、全音域での
音質を向上させました。またクロスオーバー
ポイントにでる異質のヒズミ=スイッチング
パルスも追求しました。ボリュームをあげた
大出力リスニングでも、また小出力のリスニング
でも、音のヒズミをまったく感じさせません。
- プロテクション
トリオ独自の方式によるリミッター回路とリレー
による2重プロテクション。アンプのトラン
ジスターやスピーカーを保護し、電源をON-OFF
するときのショックノイズを防止しています。
世界のスピーカーを自由に駆使してください。

- DLOA (デュアル・ローノイズ・オペレショナルアンプ)
超低歪率・安定度にすぐれたオペレショナル
アンプを、イコライザー段とトーンコントロール、
回路に採用。オーディオアンプの基本特性、安定
性・信頼性の高い回路構成を完成しています。
- トーンディフィート
トーンコントロール・ボリュームを中点にもって
きて、回路素子によって、特性に多少のうねり
ができます。トーンディフィート回路が、この
わずかなうねりもシャットアウト。フラットな
特性を実現します。
- トーンコントロール
BASSは100Hz、TREBLEは10kHzで、それぞれ
±10dBの聴感補正ができます。
- フィルター
80Hz・7kHzでそれぞれ6dB/octカットするロー・

ハイフィルター。音質をそこなわずに、ランブル
成分、スクラッチノイズをシャープにカットします。

- テープモニター/テープダビング
デッキからデッキへのダビングチェック…ソース
チェックしながらのテープモニター…デッキを
使って録音テクニックを発揮するときには、なく
てはならない回路です。

- オーディオ・ミュートイング
- 2組のスピーカー端子
- STEREO・MONOのモード切換
- 2組のプレーヤー端子
- 4ch入出力端子
- ヘッドホーン端子



KA-5006

ソリッドステート・ステレオ・プリメインアンプ
価格 ¥57,000

●MPX部にPLL回路を採用

調整ズレや経年変化をシャットアウト。可聴周波数帯域内はもちろん、とくに耳ざわりな高域でのヒズミを減少させ、また高域でのステレオ・セパレーションを大幅に改善しました。

●LC型キャリアーク・フィルター

PLL回路と併用することにより50Hz～10kHzの帯域セパレーション30dBを実現。ビート障害やヒズミを追放して、FMの音質を改善しました。

●フロントエンド/IF段

FETと2石のトランジスターを使ったフロントエンド。2素子のセラミックフィルター、IC・6石のトランジスターのIF段、質のよいFM受信のための性能は万全。

●シグナル/チューニングの2メーター方式

電波の強さと同調点を調整し、ヒズミの少ないFM電波をキャッチすることができます。

●等間隔目盛のロングダイヤルスケール

全周波数帯域内で、簡単に、正確な同調をとることができます。

●出力レベル調整

テープデッキやプレーヤーの出力レベルに合わせられるボリュームつまみを背面に設置。アンプのセクターを切り換えたときに、他のソースとの音量差のない、快適なリスニングが楽しめます。

●ファンクション切り換えはワンタッチ

AM・FM・AUTO・MONOのセクターはもちろん、ミュート、MPXフィルターの操作はプッシュボタン採用。簡単に確実な動作が可能です。

●スムーズなダイヤル機構

大型のフライホイールと精度の高いシャフトを使用。フィーリングのよいつまみの回転を実現。

●同軸ケーブルホルダー

75Ω同軸ケーブルを取りつけるホルダーを装着。屋外アンテナをつけるときに、ケーブルが切れたり、はずれたりしないで、とても便利です。

●4chDET OUT

近い将来、FM4ch放送が予想されます。そのときにそなえてFM4chDETOUT端子をつけました。

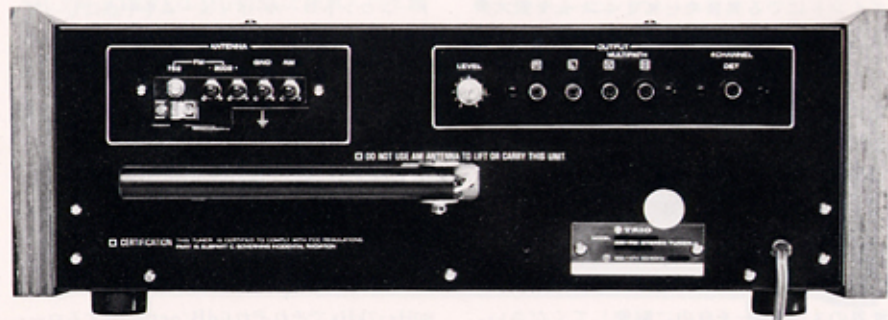
●マルチパス波形観測用端子

オシロスコープを接続すれば、アンテナを正しい方向にセッティングできます。

●FMミュートング

●MPXフィルター

●見やすいステレオ表示ランプ



KT-3007

ソリッドステートAM/FMステレオ・チューナー
価格¥42,000

●20Hz～20kHz帯域実効出力：21W+21W
23W+23W(1kHz間ch動作8Ω)。このクラス
では抜群のハイパワー設計です。

●メインアンプ部には、初段差動増幅による
(全段直結+純コンプリメンタリー)回路を採用
全音域に大きな影響を与えている低音域の諸
特性を大幅に改善。大振幅信号のクロスオー
バーポイントにでる異質のヒズミ=スイッチング
パルスもシャットアウト。全音域でヒズミの感じら
れない、フラットで安定した出力を得ています。

●プロテクション

トリオ独自のASO検出型リミッター方式のプロ
テクションを採用しました。

●DLOA (デュアル・ローノイズ・オペレーションアンプ)

イコライザー段、トーンコントロール回路に
DLOAを採用。プリアンプの諸性能を、大幅に

改善しました。

●トーンコントロール

低歪率で安定性にすぐれたDLOAを採用。100
Hzと10kHzで±10dBのトーンコントロールがで
きますので、確実に正確な聴感補正ができます。

●フィルター

ローフィルターは80Hzで6dB/octカット、ハイ
フィルターは7kHzで6dB/octカット。ごく自然
な減衰特性で、音質をそこなわずに、ランブル
成分やスクラッチ成分を除去します。

●オーディオ・ミュートイング

-20dBのミュートイングを採用。ボリュームを
あげたままレコード盤をかけかえるときにも
ミュートイングをかけてからすれば、針先が
レコード盤にふれるときのショックノイズを
カットできます。

●テープモニター/テープダビング

AデッキからBデッキへ、またBデッキからAデッキ
へ自由にダビングが楽しめます。ダビング回路
とモニター回路を独立させた便利な回路。モニ
ターするときのソースチェックやダビングチェッ
クも可能です。

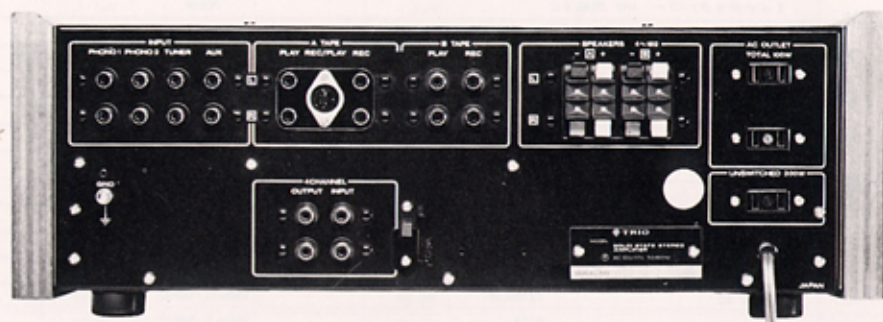
●2組のスピーカー端子

同時にも鳴らせます。別々のお部屋で、音楽を
楽しむこともできます。

●STEREO・MONOのモードセレクター

●4chOUTPUT,4chINPUT端子

●2組のプレーヤーが使えるPHONO2系統



KA-3006

ソリッドステート・ステレオ・プリメインアンプ
価格 ¥48,000

●プリメインアンプ定格

		KA-9006	KA-7006	KA-5006	KA-3006
メ イ ン ア ン プ 部	実効出力両チャンネル動作 20Hz~20kHz 8Ω	70W+70W	50W+50W	34W+34W	21W+21W
	1kHz 8Ω	73W+73W	55W+55W	35W+35W	23W+23W
	1kHz 4Ω	95W+95W	70W+70W	48W+48W	28W+28W
	片チャンネル動作 1kHz 8Ω	85W/85W	65W/65W	40W/40W	26W/26W
	1kHz 4Ω	110W/110W	90W/90W	56W/56W	37W/37W
	ミュージックパワー IHF規格 8Ω	200W	160W	95W	68W
	IHF規格 4Ω	300W	250W	145W	102W
	全高調波歪率 定格出力時 8Ω	0.2%	0.3%	0.5%	0.5%
	定格出力時-3dB 8Ω	0.05%	0.05%	0.05%	0.05%
	混交調歪率 定格出力時 8Ω	0.2%	0.3%	0.5%	0.5%
定格出力時-3dB 8Ω	0.05%	0.05%	0.08%	0.08%	
出力帯域特性 IHF規格	6Hz~45kHz	6Hz~45kHz	10Hz~40kHz	10Hz~40kHz	
残留雑音 8Ω	0.2mV	0.5mV	0.5mV	0.5mV	
ダンピングファクター 8Ω	30	30	32	32	
最適負荷インピーダンス	4Ω~16Ω	4Ω~16Ω	4Ω~16Ω	4Ω~16Ω	
プ リ ア ン プ 部	入力端子感度及びインピーダンス PHONO	2.5mV/30, 50KΩ	2.5mV/50KΩ	2.5mV/50KΩ	2.5mV/50KΩ
	TUNER	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ
	AUX	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ
	TAPE PLAY	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ
	MIC	2.5mV/50KΩ	2.5mV/50KΩ		
	4ch INPUT	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ	150mV/50KΩ
	SN比 (IHFAネットワーク) PHONO	84dB (入力5mV)	84dB (入力5mV)	82dB (入力5mV)	82dB (入力5mV)
	TUNER	95dB	95dB	90dB	90dB
	AUX	95dB	95dB	90dB	90dB
	TAPE PLAY	95dB	95dB	90dB	90dB
	4ch INPUT	95dB	95dB	90dB	90dB
	出力端子出力レベル及び出力インピーダンス TAPERC PIN	150mV/50Ω	150mV/50Ω	150mV/50Ω	150mV/50Ω
	TAPERC DIN	40mV/70KΩ	40mV/70KΩ	40mV/70KΩ	40mV/70KΩ
	4ch OUT	150mV/50Ω	150mV/50Ω	150mV/50Ω	150mV/50Ω
	許容最大入力 1kHz PHONO (RMS)	250mV	250mV	140mV	140mV
	周波数特性 TUNER, AUX, TAPEPLAY	10Hz~20kHz (+0dB, -0.5dB)	10Hz~20kHz (+0dB, -0.5dB)	8Hz~45kHz (+0dB, -1.5dB)	8Hz~45kHz (+0dB, -1.5dB)
	PHONO PIAA偏差	±0.5dB	±0.5dB	±0.5dB	±0.5dB
	トーンコントロール BASS	TURN OVER 200Hz 50Hz±10dB	100Hz±10dB	100Hz±10dB	100Hz±10dB
	TREBLE	400Hz 100Hz±10dB	10kHz±10dB	10kHz±10dB	10kHz±10dB
	6kHz 20kHz±10dB				
フィルター LOW FILTER	20, 40Hz 12dB/OCT	20, 40Hz 12dB/OCT	80Hz 6dB/OCT	80Hz 6dB/OCT	
HIGH FILTER	7, 12kHz 6dB/OCT	7kHz 6dB/OCT	7kHz 6dB/OCT	7kHz 6dB/OCT	
ラウドネスコントロール (VR MAX-30dB) 100Hz	+8dB	+8dB	+8dB	+8dB	
10kHz	+3dB	+3dB	+3dB	+3dB	
電 源 部 そ の 他	電源電圧、電源周波数	100V 50Hz/60Hz	100V 50Hz/60Hz	100V 50Hz/60Hz	100V 50Hz/60Hz
	定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示)	170W	140W	80W	55W
	電源コンセント 電源スイッチ運動	2	2	2	2
	非運動	1	1	1	1
	寸法 (幅×高さ×奥行) mm	435×157×300	435×157×300	435×157×300	435×157×300
	重量	13.5kg	11.8kg	11kg	10.5kg

★定格・意匠は改善のため予告なく変更することがあります。

●チューナー定格

		KT-9007	KT-7007	KT-5007	KT-3007		
F M 部	受信周波数	76MHz~90MHz	76MHz~90MHz	76MHz~90MHz	76MHz~90MHz		
	アンテナインピーダンス	300Ω 平衡 75Ω 不平衡	300Ω 平衡 75Ω 不平衡	300Ω 平衡 75Ω 不平衡	300Ω 平衡 75Ω 不平衡		
	クワイティンクスロープ	3μV	55dB	55dB	48dB	48dB	
		10μV	65dB	65dB	62dB	60dB	
		50μV	73dB	70dB	70dB	65dB	
	感度 (1HF) 規格	1.5μV	1.7μV	1.9μV	2.0μV		
	歪率 (400Hz, 100%変調)	0.15% MONO	0.15% MONO	0.2% MONO	0.2% MONO		
		0.2% STEREO	0.2% STEREO	0.4% STEREO	0.4% STEREO		
		SN比 (100%変調 1mV入力)	75dB MONO	72dB MONO	70dB MONO	65dB MONO	
	M 部		70dB STEREO	67dB STEREO	65dB STEREO	60dB STEREO	
		イメージ比	100dB	90dB	55dB	50dB	
		選択度 (1HF規格)	100dB	80dB	60dB	60dB	
		IF妨害比	100dB	100dB	90dB	90dB	
		ハーモニック・スプリアスレスポンス	110dB	100dB	90dB	90dB	
		AM抑圧比	65dB	60dB	55dB	55dB	
		キャプチャーレシオ	1.0dB	1.3dB	2.0dB	2.5dB	
		ステレオセパレーション	400Hz	50dB	50dB	40dB	38dB
			50Hz~10kHz	42dB	42dB	35dB	30dB
		キャリアリレー	-65dB	-65dB	-60dB	-45dB	
マルチパスインピーダンス		H130KΩ	H130KΩ	H130KΩ	H130KΩ		
		V 30KΩ	V 30KΩ	V 30KΩ	V 30KΩ		
周波数特性	50Hz~10kHz (+0dB, -0.5dB)	50Hz~10kHz (-0dB, +0.7dB)	50Hz~10kHz (+0dB, -1.0dB)	50Hz~10kHz (+0dB, -0.5dB)			
	20Hz~15kHz (+0dB, -1.2dB)	20Hz~15kHz (+0dB, -1.5dB)	20Hz~15kHz (+0dB, -1.5dB)	20Hz~15kHz (+0dB, -2.0dB)			
A M 部	受信周波数	520kHz~1610kHz	520kHz~1610kHz	520kHz~1610kHz	520kHz~1610kHz		
	感度 (1HF規格)	13μV	13μV	20μV	20μV		
		(バーアンテナ)	300μV/m	300μV/m	300μV/m	300μV/m	
	歪率	0.5%	0.8%	1%	1%		
	SN比 (30%変調 1mV入力)	50dB	50dB	50dB	50dB		
	イメージ比	70dB	70dB	50dB	50dB		
	選択度 (1HF規格)	40dB	35dB	30dB	30dB		
IF妨害比	70dB	70dB	40dB	35dB			
出力 イン ピ ダンス	FM (400Hz, 100%変調)	1.5V 最大	1.5V 最大	1.5V 最大	1.5V 最大		
	AM (400Hz, 30%変調)	0.15V 最大	0.15V 最大	0.15V 最大	0.15V 最大		
	4ch DET OUT	0.15V 10KΩ	0.15V 10KΩ	0.15V 10KΩ	0.15V 30KΩ		
	マルチパス出力	0.13V	0.13V	0.13V	0.13V		
	出力インピーダンス (AM・FM)	1.8KΩ	1.8KΩ	1.8KΩ	5KΩ		
電源 その他	電源電圧、電源周波数	100V 50Hz 60Hz	100V 50Hz 60Hz	100V 50Hz/60Hz	100V 50Hz/60Hz		
	定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示)	24W	24W	20W	20W		
	寸法 (幅×高さ×奥行) mm	435×157×300	435×157×300	435×157×300	435×157×300		
	重量	8.9kg	8.7kg	8kg	8kg		

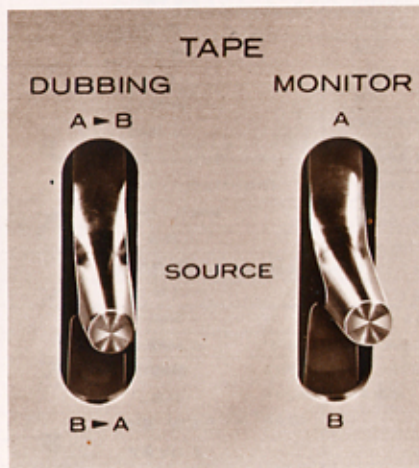
★定格・意匠は改善のため予告なく変更することがあります。

● FM録音テクニックあれこれ

NHK FMはもちろん、FM民間放送(FM東京・FM福岡・FM大阪・FM愛知)も開局5年目を迎えるプログラムソースも充実。珍しい曲や、レコードでは聴けない生演奏なども放送されています。FMステレオ放送。音のよさを追放するエアチェック派にとっては、カッコーのメインソースです。そこで、FM録音についてのアドバイスをひと言。

ラインレコーディング

FM録音は、マイクを使わないラインレコーディングです。外部からの雑音からのがれられるだけでなく、マイクやスピーカーがもっている



音のクセもシャットアウトして、高品位の音が録音できます。

テープデッキの接続

まず接続をお確かめください。TAPE REC OUT端子に接続してあるのを確かめたら、コードは短くたばねておく。これがノイズを少なくすることにつながります。

アンテナの向きは正しく

FMリスニングにも通じることですが、アンテナを正しくセッティングすることが、FMの第一歩。マルチパス検出をしながら正しくセッティングしてください。

レベルコントロール

とくにカセットデッキで録音する場合、いかにダイナミックレンジの広い録音をするかが、まず基本になります。ここで実力を発揮するのがチューナーのデビエーションメーター。ステレオ放送なら100%変調のとき、デッキのOVUにレベルセットすれば、ヒズミやSN比抜群の録音ができます。

0 dBs=160p.w.b.

トリオのカセットデッキKX-910・KX-710は0dBs=160pw bとして設定・テープの飽和レベルまで約10dBとれます。そのためダイナミックレンジの広い、ヒズミの少ない録音ができます。

レコーディング・テクニック

ソースを録音しながらナレーションをいれる、ドルビーをいれてテープヒス・ノイズをカットする、コマーシャルをカットする…などなどのレコーディング・テクニックをマスターすることによって、録音の楽しさが広がります。

音楽著作権法

FM録音したテープを営業行為として使用すると、音楽著作権法上、3年以下の懲役または50万円以下の罰金が科せられます。FM録音は自分だけのものと割りきって、レコーディング・テクニックをお楽しみください。



Dolbyはドルビー・ラボラトリーズ・インコーポレーテッドの商標です。

トリオ・コンポーネント・チャート

ソリッドステート・ステレオ・プリメインアンプ



KA-9006 価格 ¥120,000

ソリッドステートAM/FMステレオ・チューナー



KT-9007 価格 ¥90,000



LS-700 価格 ¥88,000

30cm 3ウェイ3スピーカースystem

ダイレクトドライブ・フルオート・プレイヤー



KP-5022 価格 ¥58,000

システム価格

¥444,000

¥374,000

ソリッドステート・ステレオ・プリメインアンプ



KA-7006 価格 ¥75,000

ソリッドステートAM/FMステレオ・チューナー



KT-7007 価格 ¥65,000



LS-400
価格 ¥43,000

30cm 3ウェイ3スピーカースystem

ダイレクトドライブ・プレイヤー



KP-5500 価格 ¥49,800

システム価格

¥435,800

¥275,800

¥242,800

ソリッドステート・ステレオ・プリメインアンプ



KA-5006 価格 ¥57,000

ソリッドステートAM/FMステレオ・チューナー



KT-5007 価格 ¥50,000



LS-300
価格 ¥33,000

25cm 3ウェイ3スピーカースystem

フルオート・プレイヤー



KP-3022 価格 ¥39,000

システム価格

¥212,000

¥195,000

ソリッドステート・ステレオ・プリメインアンプ



KA-3006 価格 ¥48,000

ソリッドステートAM/FMステレオ・チューナー



KT-3007 価格 ¥42,000



LS-200
価格 ¥25,000

20cm 2ウェイ2スピーカースystem

オートリターン・プレイヤー

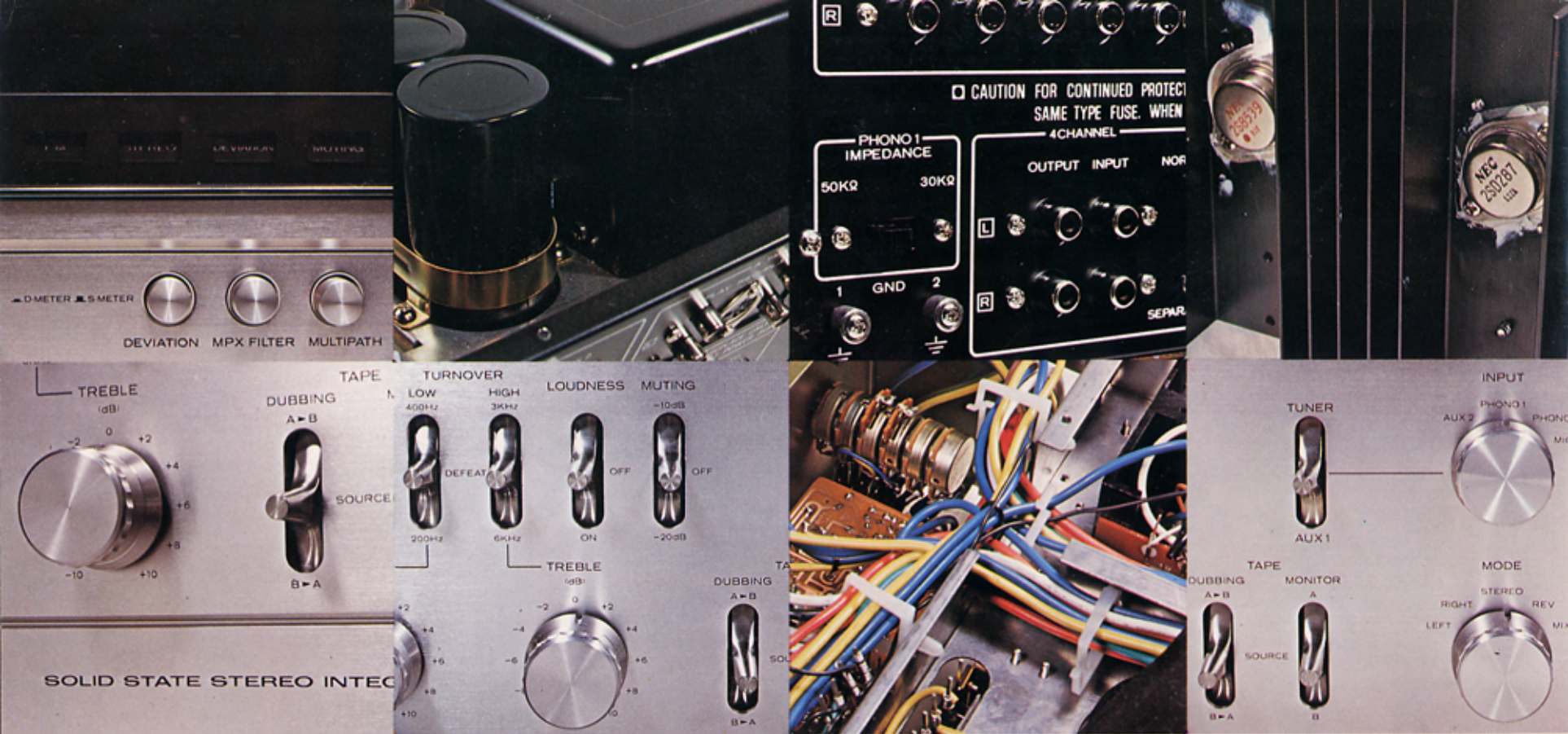


KP-2022A 価格 ¥29,000

システム価格

¥202,000

¥169,000



お買上げは信用ある当店で



トリオ株式会社/トリオ商事株式会社
 東京都渋谷区渋谷1-6-5 (〒150) ☎03-400-7171
 丸の内ショールーム 東京都千代田区丸の内3の4新国際ビル
 電話 (03) 213-8775
 1974. 7. 21製作 (S100B)